

研究計画概要

| | |
|-------------|---|
| 助成年度・種別 | 2023年度 若手研究助成 |
| 研究者 | 山岡 あゆち |
| 所属 | 東京大学教養学部・総合文化研究科附属 教養教育高度化機構 社会連携部門 |
| 研究テーマ | いじめの加害の再発予防に関する探索的研究 |
| 研究計画概要 | <p>いじめ防止対策推進法が施行され、教育現場では体系だったいじめ対策が取られるようになってきているが、被害者の対策に重きが置かれていることもあり、加害者のいじめの再発防止に向けた働きかけが必要であると考えられる。そのため、本研究1では、いじめの加害経験がある者を対象にした回顧式によるインタビュー調査を行い、加害者がいじめやその指導をどう捉え、いじめを反復したか否かとその有無について関係する要因について模索し、加害者の被害者性も含めて、どのような心理機制が働いて加害者がいじめに及んだかについて、加害者の語りから仮説を生成することを目指す。研究2においては、教育現場においていじめ対応を行う教員に対していじめ対応で苦慮していることや対応の現状について、インタビュー調査を実施し、教育機関の法施行後のいじめ対策について 多機関連携や加害者・保護者への対応の現状を明らかにする。そして研究3において、保護者のいじめ観を把握するために質問紙調査に実施する。以上の一連の研究を通じて、今後のいじめにおける加害者対応に対する基礎的な知見を得ることを目指す。</p> |
| 選考委員からのコメント | <p>この研究は、いじめを繰り返さないためには何が必要かについて仮説生成を行い、今後のいじめの加害者対応に対する基礎的な知見を得ることを目的として、以下の3点に関して研究を行うものである。</p> <p>①いじめ加害経験者のいじめ加害に至った心理機制、②教員等のいじめ対応に係る困難さや支援へのニーズ、③保護者のいじめの捉え方。</p> <p>いじめ加害者に対する調査であり、いじめの再発に注目している点で、チャレンジングかつすぐれた研究計画であると評価された。たいへん生産的な若手研究者の一人であり、成果が期待できる。</p> |